

日本薬物動態学会 第25回ワークショップ

Stop! 毒性要因による新薬開発中止～薬物動態研究者にできることは何か？～

■ 平成23年5月12日(木)、13日(金) ■ 東京大学鉄門記念講堂(文京区本郷7-3-1)

第1日目 5月12日(木) 14:00~17:10

最先端研究に焦点

● マイクロRNAの薬物動態への関与と
新規毒性評価への展望 中島美紀(金沢大)

● ヒトiPS細胞を用いた
新規in vitro毒性評価への展望
水口裕之(大阪大・医薬基盤研)

● メタボロミクスを用いた
新規毒性評価への展望 曾我朋義(慶応大)

● 懇親会(ワークショップ参加者は無料) 17:30~20:00

第2日目 5月13日(金) 9:00~17:30

毒性研究者と動態研究者の連携

9:00~12:00

● 毒性研究者の立場から 橋爪恒夫(武田薬品)
● 毒性研究者の立場から 藤本和則(第一三共)
● 動態研究者の立場から 成富洋一(アステラス)

毒性回避戦略に焦点

13:25~17:30

● トランスポータ白書を考慮した戦略
岸本 航(バーリンガー・インゲルハイム)
● 毒性バイオマーカーを考慮した戦略
山田 弘(医薬基盤研)
● 副作用とトランスポータ親和性を指標とした
抗がん剤個別化治療戦略 濱田哲暢(熊本大)
● 特異体質性薬物毒性の回避戦略 横井 毅(金沢大)

日本薬物動態学会 第5回ショートコース

細胞を用いた誘導および代謝に関する企業研究の最前線

■ 平成23年5月12日(木)
9:00~13:20

■ 東京大学鉄門記念講堂
(文京区本郷7-3-1)

- 1. 誘導、代謝の基礎と最新知見 吉成浩一(東北大)
 - 2. ヒト肝細胞を用いたHT-CYP3A誘導系の確立と評価 上口尚美(武田薬品)
 - 3. HepaRGおよびヒト凍結肝細胞を用いたCYP3A誘導系の確立とクライテリア設定 金子晃久(中外製薬)
 - 4. 非CYP酵素およびトランスポータの誘導と3D培養の有用性 西村益浩(大塚製薬工場)
 - 5. 肝細胞を用いた代謝物解析、ヒト代謝予測の実際 村井孝弘(第一三共)
- ラウンドテーブルディスカッション(終了後、お弁当を配布。別室にて昼食)

参加費等の詳細につきましては、学会ホームページ(<http://www.jssx.org/jpn/workshop/ws25/>)に随時掲載いたしますので、ご確認ください。なお、参加申し込みは2011年1月20日(木)よりホームページで受付を開始する予定です。

■ 最終締切: 2011年3月12日(金) (申込開始: 2011年1月20日(木))

■ 参加費: 【ワークショップ】 会員12,000円(当日17,000円)、非会員20,000円(当日25,000円)、学生5,000円(当日6,000円)
【ショートコース】 会員18,000円(当日23,000円)、非会員28,000円(当日33,000円)、学生7,000円(当日9,000円)
なお、ワークショップとショートコース両方に同時参加登録された方には以下の割引があります。
会員27,000円(当日36,000円)、非会員40,000円(当日50,000円)、学生8,000円(当日10,000円)
学生会員は先着50名まで無料です。

■ 連絡先: 〒160-0016 東京都新宿区信濃町35 信濃町煉瓦館 財団法人 国際医学情報センター内
日本薬物動態学会第25回ワークショップ/第5回ショートコース登録事務局 TEL:03-5361-7370 FAX:03-5361-7091
E-MAIL: jssx-ws@imic.or.jpあるいはjssx@imic.or.jp 担当: 西澤 展美

カジュアルスタイルでご参加ください。

ワークショップ代表世話人: 寺村俊夫(アステラス製薬株式会社)
ショートコース実行委員長: 森脇俊哉(武田薬品工業株式会社)

主催: 日本薬物動態学会